

# ながさき 県議会だより

4月臨時会・6月定例会



議長就任あいさつ  
長崎県議会議長  
中島 廣義

### 知事提出の議案

- 予算 5件(可決)
- 条例 5件(可決)
- 事件 5件(可決)
- 人事 4件(同意)
- 専決 17件(承認)

### 可決された意見書

- 〇地方財政の充実・強化を求める意見書
- 〇少人数学級・教職員数等の改善に係る意見書
- 〇骨髄移植ドナーに対する支援の充実に関する意見書
- 〇国土強靱化のさらなる推進に向けた意見書

### 可決された決議

- 〇2023年G7関係閣僚会合の長崎開催を求める決議

### 議長就任あいさつ

長崎県議会議長に就任いたしました中島廣義でございます。新型コロナウイルス感染症に感染された方々へ心からお見舞い申し上げますとともに、医療従事者をはじめとする関係者の方々に感謝申し上げます。県議会におきましても、感染症対策に力を注ぎますとともに、度重なる感染拡大を受け、様々な分野に大きな影響が生じていること、社会経済活動の回復に全力で取り組んでまいります。

また、本県は、若者の転出超過による人口減少、九州新幹線西九州ルート整備促進特定複合観光施設（IR）区域整備の推進など、多くの課題を抱えております。これらの課題解決に取り組む県民の力に感謝するとともに、誠意誠意努力してまいりますので、なお、厚いご指導・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 令和4年4月臨時会、6月定例会が開催され活発な論議が交わされました。

令和4年4月臨時会（4月19日）と4月20日に開かれ、第68号議案（特定複合観光施設に係る区域整備計画の認定申請について）が上程され、原案のとおり可決・承認されました。令和4年6月定例会は、6月6日から7月1日まで開かれました。

開会初日は、令和4年度長崎県一般会計補正予算第3号（1）などの議案が上程され、大石知事が県政の重要事項について報告し、当面の所信を述べるとともに、提出議案について提案理由の説明を行いました。一般質問では、16名の議員が登壇し、知事の政治姿勢、県民の安心安全、県庁舎跡地活用、IR、県央地域の課題、離島や観光半島及び産業や観光経済の振興対策、小規模事業者支援、土木や教育行政など様々な事項について活発な論議が交わされました。

補正予算については、各分野のデジタル化やDXの推進、スタートアップ支援等の新たな取組、県民にしっかり寄り添った施策に要する経費について編成され、一般会計686億2992万4千円の増額補正となり、本年度の一般会計の歳入歳出予算額は、7569億5631万4千円となり、昨年度の当初予算と比べ、83億2510万2千円の増となりま

### 一般質問

#### 国土強靱化対策について

徳永 達也（雲仙市/自由民主党）

【質問】防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の予算要求の方針と今後の継続のための取組は、

【答弁】県民の生命・財産、暮らしを守り、産業を支えるため、現在の加速化対策の予算を最大限確保し、確実に進める。また、5か年加速化対策も必要で、算を確保し、継続的、安定的に取組を進めていくことが極めて重要であると認識しており、今後も国に対してしっかりと働きかけたい。

#### 県庁舎跡地について

外間 雅広（佐世保市・北松浦郡/自由民主党）

【質問】県庁舎跡地整備基本構想が示されたが、具体的な今後の進め方は、

【答弁】今後、基本構想に基づき、暫定活用の実施に向けた整地や舗装などの基礎的な工事を進めてまいりたい。また、早期にぎわいの創出に向け、旧県庁正面玄関跡や第一別館跡付近は、今年秋頃から別途に県民の皆様が利用可能なオープンスペースを整備するとともに、利用状況等を検証の上、建物等の規模や配置など、その後の整備を検討してまいりたい。

#### 九州・長崎IRの国の認定について

田中 愛国（佐世保市・北松浦郡/自由民主党）

【質問】国の申請をした長崎県について、ポイント提案概要の説明を、

【答弁】アジアとの近接性を活かした集客、多種多様な観光資源を活かした広域周遊観光、オール九州による推進体制など、独自の優位性があり、誘客においても、ハイステンポとの相乗効果が期待できる。また、国の要求水準を上回る規模を備えたMICE施設や宿泊施設、ジャパンハウスやメディアカモールなど、特徴ある施設を整備することとしている。

#### 「被爆体験者」救済へむけた課題

坂本 浩（長崎市/改革21）

【質問】広島県の「黒い雨裁判」の判決が確定したが、これを機に、長崎の被爆体験者の全面救済を目指し、被災地域の拡大を国に強く要望すべきでは、

【答弁】県としては、第一健康診断特例区域の拡大と同様に、被災体験者の救済につながることを第一に考えている。このため、第一種健康診断特例区域等の分析、検証を進め、早急に結論を出していただくよう、長崎の「黒い雨」等に係る認定、救済と併せ、国に要望してまいりたい。

#### 今後の水産業の方向性と県との取組について

近藤 智昭（南松浦郡/自由民主党）

【質問】国の施策の方向性や社会情勢の変化、本県水産業の将来展望を見据え、県は水産業をどのように成長させていくと考えるのか、

【答弁】国がマーケットイン型推進の推進など新たな方向性を示す中、本県は、養殖適地が多く、中国などに近い優位性もある。輸出拡大には、安定生産と計画的な出荷が可能な養殖の生産力強化が鍵であり、大企業など連携した沖合への進出やIoT活用等の先進的な養殖への挑戦など積極的を進めていく。

#### 目指す長崎県像について

中山 功（長崎市/自由民主党・県民会議）

【質問】知事は目指す新しい長崎県像としてのどのような姿を描いているのか、

【答弁】子育て支援や医療福祉介護サービスなどを充実させ、全世代の皆様がそれぞれが地域の安心安全に暮らしていける社会を作る必要がある。また、若者や女性等のチャレンジを後押しすることにも、本県の様々な魅力と積極的な発信、県内外の多くの皆様が注目される道は、長崎県を目標としながら、長崎県づくりに取り組んでまいりたい。

#### 地域農業をけん引する女性農業者の育成について

大場 博文（島原市/自由民主党）

【質問】地域農業を牽引する女性農業者の育成について、どのように考えているのか、

【答弁】本県農業の活性化のためには、女性の農業経営への積極的な参画が必要とされている。地域農業を牽引する女性リーダーを育成するスキルアップ研修会の新たな開催や、税理士等の専門家にによる支援を行う農業経営者サポート事業などにより、女性が農業を通じて地域社会で活躍できる場の拡大を図ってまいりたい。

#### 教員のなり手不足の解消について

久保田 将誠（長崎市/自由民主党）

【質問】教員のなり手不足は長時間労働が大きな要因だと感じるが、どのように考えるか、また、教員のなり手不足の解消についてどのように取り組むこと、

【答弁】現在、働き方改革に取り組み中。教員の長時間労働は減少傾向にあるが、教員の分業を進めることが重要。また、労働時間を減らすだけでなく、教師自身が働きがいを実感できるようにする必要もある。さらに、教職の魅力や魅力を発信する等、様々な視点から教員のなり手不足の解消につなげる取組を進めたい。

#### 長崎県成長産業ネクストステージ投資促進事業について

中村 泰輔（長崎市/改革21）

【質問】本事業のこれまでの成果は、

【答弁】県内経済と雇用を支援する内、成長分野に進出する県内企業を支援する事業として、これまで計4回、総額3億8000万円の事業を推進し、合計194件の事業を採択した。造船プラント分野において、海外での製造から県内へ製造拠点を移転し、関係企業も県内へ進出している事例など、本事業全体で今後2年間で3000人を超える雇用創出や、今後10年間で約320億円の県内発注が見込まれている。

#### ライフジャケット着用の推進について

北村 貴寿（大村市/自由民主党）

【質問】毎年、全国的に水難事故で多くの児童生徒が命を落としている。水難事故防止のためのライフジャケット着用の啓発に関する取組は、

【答弁】これまで夏休み前には、各小学校に対して、危険箇所における遊泳の禁止や泳ぐ前の体調管理などを通知し、児童生徒への指導の徹底を図っているが、今年度からは水難事故防止に有効なライフジャケットの活用についても、この通知に盛り込むことで、一層の事故防止に努めてまいりたい。

#### 世界秩序の変化と長崎県の役割について

山下 博史（佐世保市・北松浦郡/自由民主党）

【質問】ロシアのウクライナ侵襲、北朝鮮による脅威の増大など不安定な時代、県は、さらなる高度な情報収集や県警との連携、よりハイレベルな米軍や自衛隊との連携のため、基地対策専門の組織を設置すべきと考えるか、

【答弁】世界情勢が不安定さを増し、国防力の強化が議論されている中、県としても、関係自治体と連携した基地対策を促進し、国防を担う自衛隊と有事に備えた一層の連携強化に取り組む必要があり、組織について検討を進める。

#### 県庁舎跡地活用について

下条 博文（長崎市/自由民主党）

【質問】県庁舎跡地の重層的な歴史や県内各地の魅力を感じていただくための情報発信機能として、最先端のVR技術を導入することが効果的ではないか、

【答弁】VRなどの先端技術を用いた情報発信は、県庁舎跡地の歴史や変遷や世界遺産、県内各地の魅力を体感していただく有効な手法の一つとされている。今後、VRを含めて先端技術を活用した情報発信についての研究を深め、県庁舎跡地における利活用を検討してまいりたい。

#### 地域の事業者を支える商工会支援の拡充について

吉村 洋（佐世保市・北松浦郡/自由民主党・県民会議）

【質問】長崎県商工会連合会が行う新たな取組に対する県の支援や、積極的なバックアップについて、県の見解は、

【答弁】地域の特性を活かして、地域振興を図るべく、中小規模事業者を、商工会と連携して支援することにより、地域経済の維持・発展につなげていきたい。今後、感染症の影響やデジタル社会の進展などを踏まえ、商工会や県商工会連合会など、関係機関と十分に協議を重ねながら、どのような取組が有効であるのか、検討してまいりたい。

#### 部活動の地域移行についての内容と今後のスケジュール

千住 良治（諫早市/自由民主党）

【質問】中学校の部活動の地域移行の内容、今後のスケジュール及び中体連の参加資格は、

【答弁】国は、令和5年度から3年間をめぐり、まずは休日の運動部活動から段階的に地域移行していく方針を示しており、具体的な制度設計が示され、県民の推進計画の策定に取り組んでまいりたい。また、今後の地域移行を見据え、来年度の全国中学校体育大会は、学校単位に加えて、地域のスポーツ団体等との出場も可能にするという。

#### 長崎版プレミアムフライデー（仮）について

赤木 幸仁（長崎市/改革21）

【質問】長崎の夜の賑わいを創り出すという「長崎版プレミアムフライデー（仮）」など、飲食店や公共交通を含めた経済刺激策と行政の後押しが検討できないか、

【答弁】夜の賑わいを取り戻していくためには、飲食店などの経営環境、交通の確保、働く人の労働環境など様々な条件を整えることが必要とされている。こうした状況の中で夜の賑わいを取り戻していくためには、どのような手立てができるか議論してまいりたい。

#### 西九州新幹線開業後のJR長崎本線について

坂口 慎一（諫早市/自由民主党）

【質問】新幹線開業後のJR長崎本線の普通列車の運行ダイヤ計画について、利便性の低下を懸念する意見があるが、JR九州へ運行ダイヤ計画を見直すように、積極的な働きかけができないか、

【答弁】JR九州に対し、可能な限り乗換が生じないよう先行を延ばすことや、乗換が生じる場合でも、同一ホームで対面乗換ができるよう働きかけるなど、引き続き、JR長崎本線の利便性の確保に努めてまいりたい。

### 常任委員会

予算決算委員会	委員長/松本 洋介	農水経済委員会	委員長/山下 博史	観光生活建設委員会	委員長/石本 政弘	文教厚生委員会	委員長/下条 博文	総務委員会	委員長/北村 貴寿
【質問】長崎県事業復活支援給付金事業費に関し、当初の想定を超える多くの申請があったことから、今回給付金の増額補正を行うことだが、申請が増加した要因をどのように分析しているのか、		【質問】アフターコロナに向けた製造業の振興に関し、成長産業ネクストステージ投資補助事業においては、これまで約40億円を採択してきたが、今後の雇用拡大や発注増をどのように見込んでいるのか、		【質問】交通局の経営状況に関し、燃料価格の高騰は、営業費用に影響があると思われるが、今後、早期に黒字化を目指すにあたってどのように取り組むのか、		【質問】私立学校における体罰・いじめ根絶に向けて、どのような取組を行っているのか、		【質問】長崎空港からIRへの海上輸送に関し、インバウンドや県外からの誘客については、長崎空港が重要な交通拠点と考える。空港からIRまでの輸送計画はどのようなものになっているのか、	
【答弁】物価高騰等の影響が、県内の幅広い事業者に及んでいることが伺われる。また、本給付金の申請要件となる国の事業復活支援金について、県独自で申請サポート窓口を県下7箇所設けるなど、事業者に対し、きめ細かに支援したことが考えられる。		【答弁】この補助金においては雇用維持計画の策定や、県内企業への波及効果を高めるための県内発注計画の策定を求めている。これらの事業計画をもとに、今後2年間で新規雇用325人が創出されるほか、今後10年間で約320億円の県内発注が見込まれることから、事業計画の進捗確認を含め、しっかりと進めてまいりたい。		【答弁】昨年度は、中期経営計画に沿って、人件費や各種経費の削減を行うとともに、リムジンバスの利用増加や貸切バスの受注の増加により、赤字縮減を行うことができた。一刻も早い黒字化を目指すため、今後も社会情勢を注視し、共同経営による路線の効率化や投資の抑制、資産活用などに努め、経営の立て直しを図ってまいりたい。		【答弁】校長・教頭等への啓発に加え、教頭・副校長との面談などを行い、他校の情報等を紹介し、新しい気付きを持ってもらうよう取り組んでいる。また、いじめ対策として、今年度から新たに、公私立の教頭を対象に研修を行い、それを各校の教職員に伝達する取組もしている。今後もあらゆる機会を捉え、体罰・いじめ根絶に向けて、私立学校教職員の意識徹底を図っていききたい。		【答弁】IRへの純来訪者数は673万人を予定しており、長崎空港の利用者は、150万人の増加になると考える。また、長崎空港の利用者のうち、約7割が海上輸送で移動するものと想定している。現在、長崎空港とハウステンボス間を約50分で運航しているが、30分で運航できる高速船と、約70分をかけて大村湾を周遊する遊覧船の運航を予定している。	
【主な論議事項】本県の財政状況と財政運営について/人口減少対策について/子どもの医療費助成について/公共交通事業継続緊急支援費について等		【主な論議事項】漁業所得向上対策について/水田を活用した水田農業について等		【主な論議事項】公共工事業の発注状況/新・ご当地グルメの取組/旅行割引キャンペーン/川口ア・パート建替事業について等		【主な論議事項】マスク着用のルールについて/保育士の処遇改善について等		【主な論議事項】二重電話詐欺対策について/新幹線のフル規格化について等	

#### 議長記者会見

7月1日に開催した議長記者会見では、はじめに坂本徳前議長から退任の挨拶がありました。その後、新議長に就任した中島廣義議長が就任の挨拶の中で、県民の様々な課題解決のため、二元代表制の一翼を担う県議会がその役割と責務を果たすことが重要であると述べ、「佐賀県議会議事との連携」、「議会のデジタル化」、「県立大学との連携」など、これまで坂本前議長が行って来た改革の取組を継続し、公正かつ円滑な議会運営に努めたいと抱負を述べました。

#### 県立大学での議員講演

長崎県立大学と令和3年3月23日に締結した包括連携協定に基づき、5月23日、県立大学において、学生の県議会に対する理解促進と主権者としての自覚の育成を図ろうと千住良治議員が「100年に一度の変革期を迎えて～長崎県政の課題と取り組み～」をテーマとして、参加した約220人の学生に対し講演を行いました。

#### 議会のペーパーレス化

開かれた議会の推進、コスト削減等を目指し、6月定例会から議会資料のペーパーレス化を試行しています。ペーパーレス化ではタブレット機器等のリース経費が毎年発生しますが、印刷費等の削減により、年間約560万円の収支改善効果が見込まれます。試行期間で課題を整理しながら、本格導入に向けた検討を進めていきます。

#### お知らせ

動画配信  
本会議・委員会の中継・録画配信を行っています。一般質問の表題欄のQRコードから当該一般質問の録画にアクセスできます。

ホームページ・会議録  
会議録全文を掲載しています。  
○平成28年2月～令和4年3月定例会の本会議・常任委員会  
○平成24年4月～令和4年4月分の特別委員会  
○本会議・委員会は、原則としてだれでも傍聴できます。

次回の定例会  
次回の定例会は、令和4年9月12日（月）に開催予定です。

テレビ放送  
「県議会レポート」 令和4年7月31日（日） 13:55～14:25  
NCC長崎文化放送 5ch